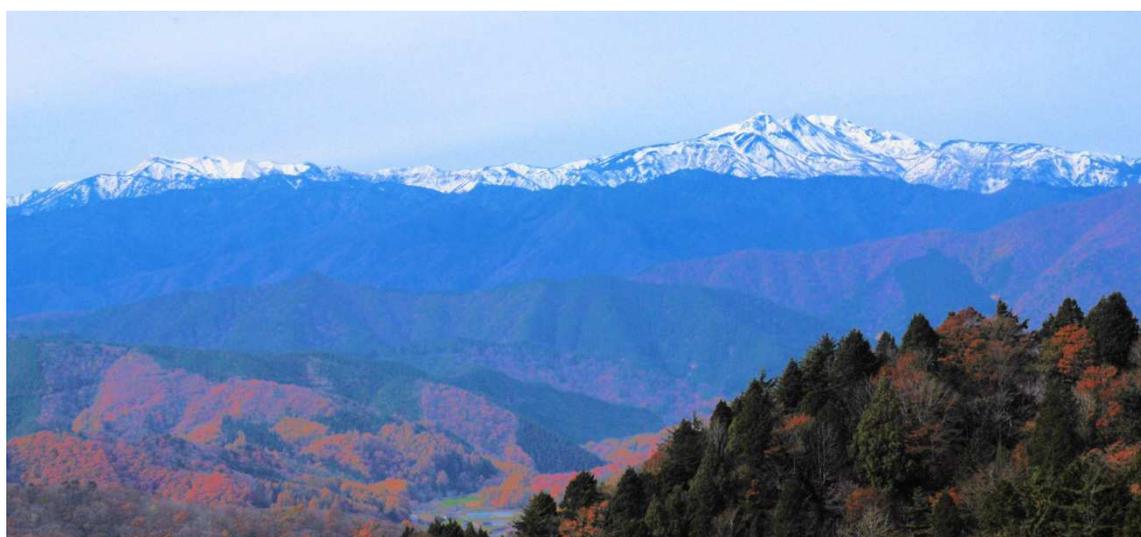


第 156 回 例会登山

HaksanView



2012 年 11 月 4 日 傘山 1331.4m 鉄塔 110 番展望台から白山と別山
手前の真っ赤な紅葉に包まれた谷あいの村は本土の最低気温 -28.2℃を記録した六厩

◇期日: 2012 年 11 月 2 日(金)~4 日(日)

◇参加者: 平井一正 金井健二 和光広典 居谷千春 山田健 大竹口誠治 井上達男

◇行動概要

11 月 2 日(金)

午後 平井 金井 和光 居谷 4 人が和光車にて井上山荘(HaksanView)に到着。ひらまさの刺身で乾杯の後に湯の平温泉に行く。夕食は鍋とオデン。和光さんの作ったお米のごはんが今回の主食。明日の昼食のおにぎりになった。

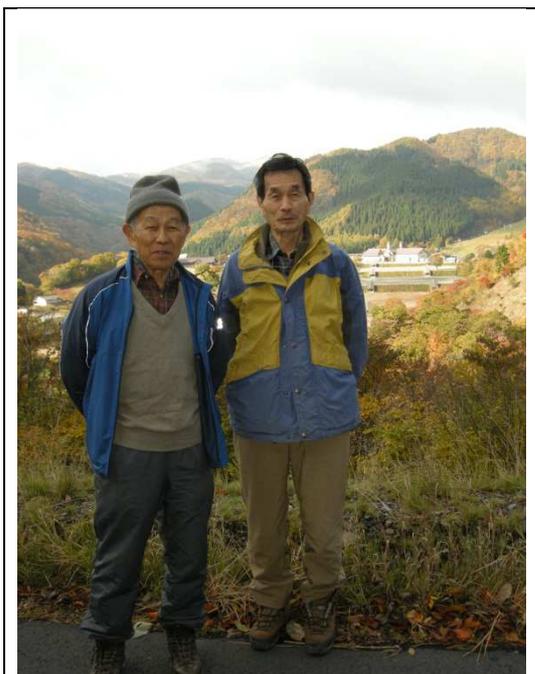
11 月 3 日(土)

↳登山 気良烏帽子岳 1595m・烏帽子岳 1625.3m

☆気良烏帽子岳登頂: 和光・居谷・井上

☆烏帽子岳登頂: 平井・金井健・和光・居谷・井上

朝から北西の季節風が吹き、大日ヶ岳の山頂付近がうっすらと雪化粧した。井上山荘のある明野は今が紅葉の真っ盛りで美しい。鷲ヶ岳北方の峠を越えて荘川へ。そこから山中峠経由でメイホースキー場に出た。西俣川の林道入り口に駐車。



8:50 平井 金井 二人で161歳
メイホースキー場を背に

西俣川流域は私有地で林道は林業のために開削されたもので支線は放置されて久しく自然に帰っている場所も多い。烏帽子岳には東のこの林道から烏帽子岳と気良烏帽子岳の中間の尾根に開かれた唯一の登山道がある。西側は一色川源流で鷲ヶ岳、阿多岐山、奥白尾山そして烏帽子岳に取り囲まれているが登山道は全くない。千島笹に阻まれて藪漕ぎは猛烈。気良烏帽子岳頂上から一色川源流の山々を眺めた居谷さんは鷲ヶ岳から縦走して烏帽子岳、オサンババへ至る積雪期の登山が面白そうだとコメントした。

さて、今日の登山だか、林道のアプローチがだらだらと長かった。林道終点まで車が入れるものだと思っていたメンバーが大勢だったのでちょっとがっかりした様子だったが、すぐに紅葉の美しさに気を取り直した。裾野の紅葉から山頂の雪まで晩秋の彩りを満喫できたので皆が満足した一日だった。



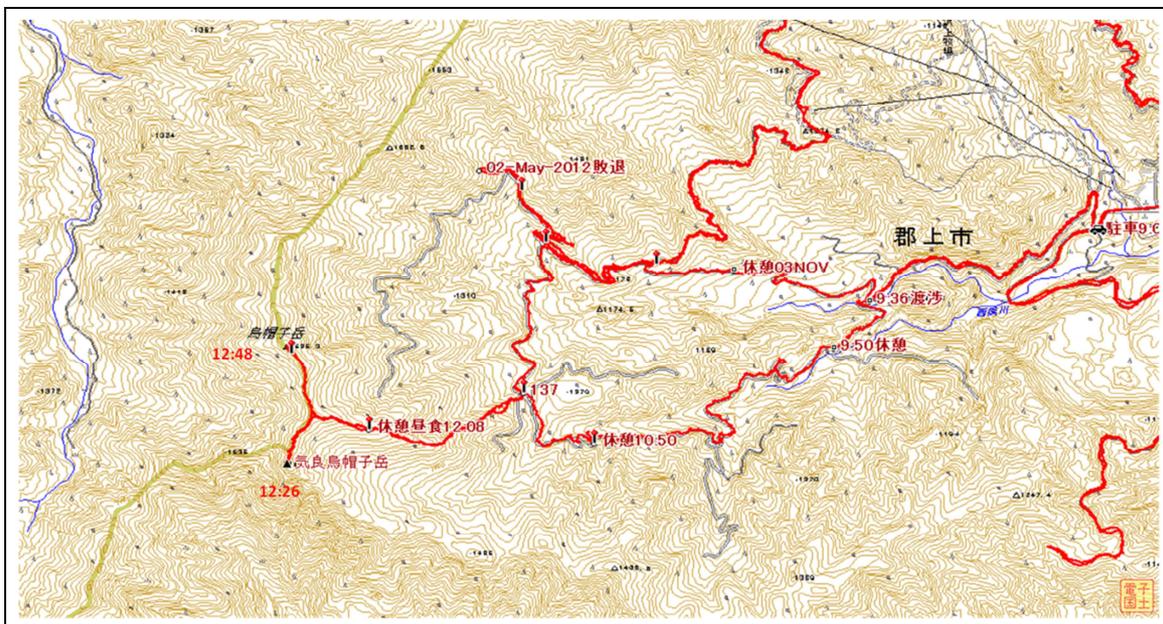
烏帽子岳 1625.3m山頂

81歳の平井、80歳の金井両氏の頑張りには敬服。登りの建機な平井先生に対して下りの元気な金井さん。我々60代は自分たちが80代になってこれほどに元気がある自信はない。平井先

生はゆっくりだが着実に歩を進める。金井さんは鼻から同行をあきらめてマイペースの歩行。特に急坂での歩行が肺換気能の衰えから酸素補給が追い付かず苦しい模様だ。しかし、稜線での登りで1時間ほど遅れたにもかかわらず頂上への執念は捨てがたく、和光君の「居谷、もう一回いっしょに烏帽子までつきあって」の一言を導き出した。せめて稜線のピークまで、と別れて出発された。そして烏帽子岳の山頂に立つことができた。下山は問題なく60代の我々と遜色のない速度で歩行された。

気良烏帽子岳 1595mでの霧氷と一色川源頭の峰々の眺望、烏帽子岳 1625.3mでの太陽のスポットライトに照らされた紅葉の山肌、そして西俣川谷筋の色とりどりの紅葉など、色彩豊かな秋山を満喫できた。そして、下山後すぐにあるメイホ-温泉でのくつろぎのひと時もまた格別だった。

今日入山した山田、大竹口組は湯の平温泉に入ってHaksanViewにて我々の帰宅を待っていて。夕食は飛騨牛の鉄板焼。



7:40 HaksanView 出発

9:00 メイホ-スキー場脇の西俣川林道入り口に駐車 880m

9:36 西俣川北支流の林道渡渉地点 990m

9:50 西俣川本流林道分岐 1020m 休憩

10:50 林道 1210m 休憩

12:08 東尾根 1530m 休憩 積雪少々

12:26 気良烏帽子岳 1595m

12:48-13:10 烏帽子岳 1625.3m 山頂積雪 10cm 時々日差しあり

15:44 下山 16:00 金井、居谷下山



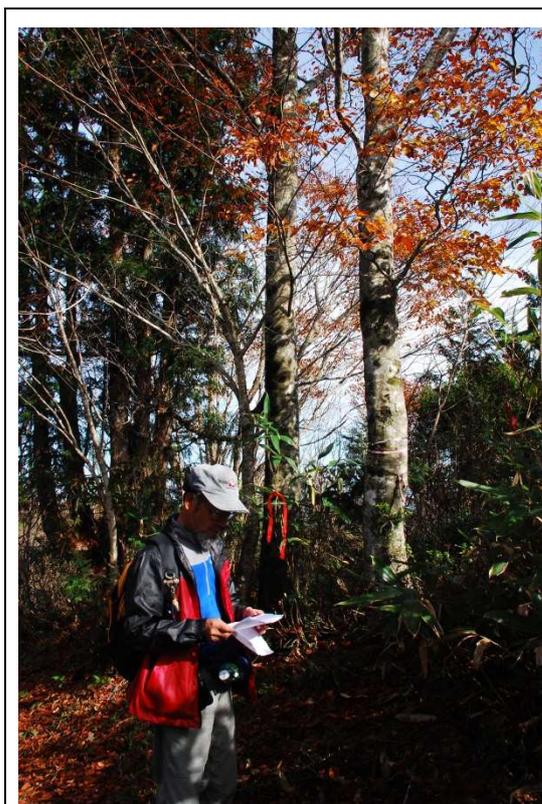
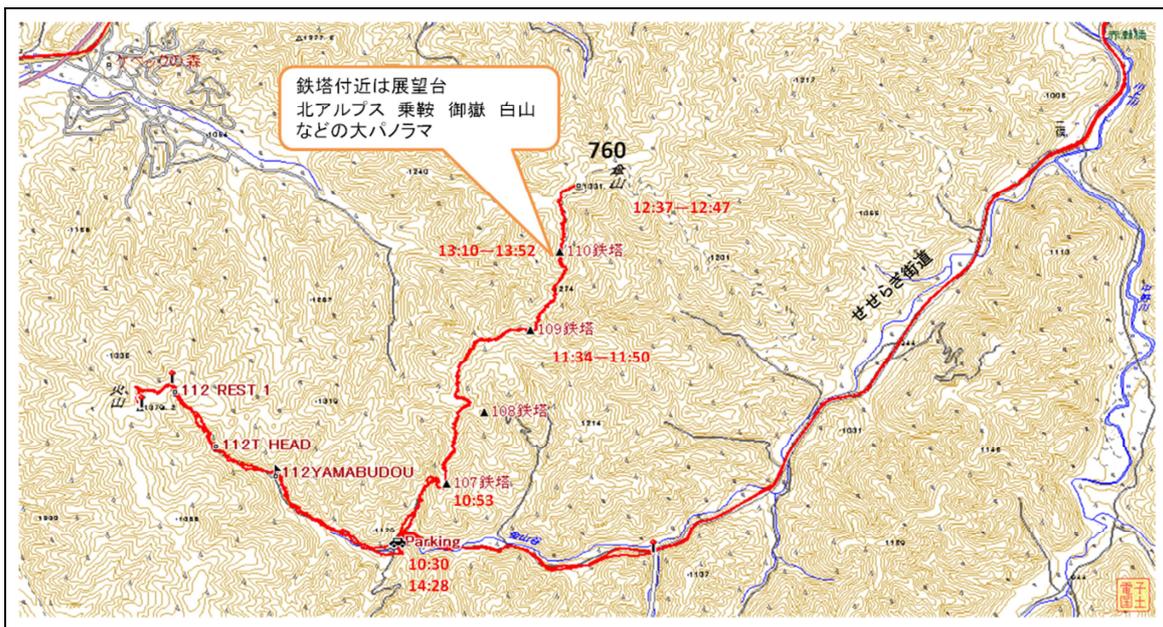
11月4日(日)

↳阿弥陀ヶ滝見物

↳登山 ^{ひやま}火山1379.2m・傘山 1331.4m

☆火山登頂 居谷・山田・大竹口

☆傘山登頂 金井・和光・居谷・山田・大竹口・井上



傘山 1331.4m 山頂



阿弥陀ヶ滝 落差 60m

平井は本日の登山を取りやめて白鳥駅から長良川鉄道にて帰京。

日本名瀑百選の阿弥陀ヶ滝を見物後、高山へ続く白川街道(国道 158 号線)の松ノ木峠より少し北から東に峠を越えてせせらぎ街道に入り、南下して金山谷に入り、送電線の下、標高 1000m にて駐車。街道は全山紅葉だった。

10:36 居谷 山田 大竹口は火山1379.2m から稜線伝いに傘山1331.4m 登山道に合流すべく出発。ところが井上が教えた(net 情報)稜線の踏み跡はブッシュ酷く突撃はやめて登山口に引き返して傘山直行組の金井 和光 井上の後を追った。

火山には井上が9月に妻と登っている。頂上はブナと樺の巨木に笹の下草で展望がきかない山。今は紅葉が美しいのでそれなりに楽しい山だったと思う。感想は山田達の報告に委ねたい。

傘山は送電線が南北に敷設されていて巡視路が登山道になっている。変哲のない藪山だが、今日のように晴天に恵まれると紅葉とともにアルプスの展望台となる。

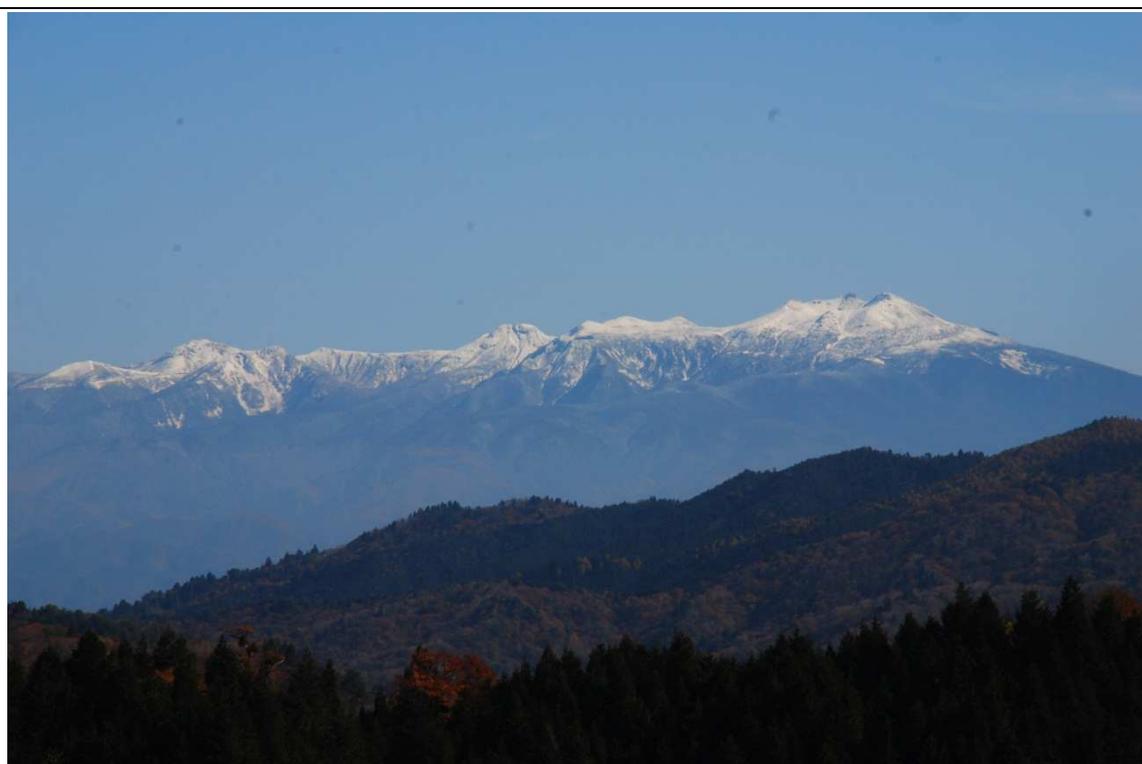


鉄塔 110 にて乗鞍を背に 大竹口 居谷 井上 和光 山田 金井

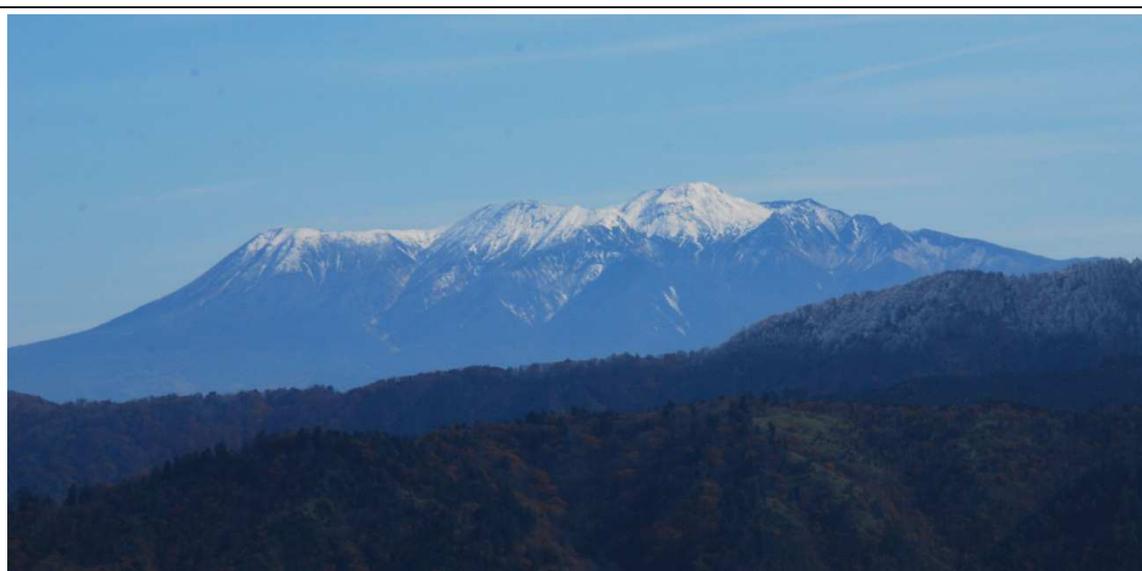
- 8:30 長良川鉄道 白鳥駅 平井先生は 9:01 の列車で帰京
8:45-9:15 阿弥陀ヶ滝見物
10:30 せせらぎ街道から金山谷に入り 登山口にて駐車
10:54 鉄塔 107 乗鞍岳が見えた。
11:34 鉄塔 109 北アルプス 乗鞍 御嶽の眺望よし
12:37 傘山 1331.4m 頂上
13:10 鉄塔 110 火山 1379.2m 登山組と合流
鉄塔付近は展望台 北アルプス 乗鞍 御嶽 白山などの大パノラマ
14:28 下山 解散



阿弥陀ヶ滝左岸懸崖の紅葉



乗鞍岳 鉄塔 109 から



御嶽 鉄塔 110 から



白山を背にHaksanViewの庭にて
山田 大竹口 居谷 和光 金井 平井 井上妻 井上

以上 井上達男 記